

## 子ども図書館参考事例（近隣・最近の事例）

事例	施設の名称	立地・施設の構成	面積(m <sup>2</sup> )	蔵書数	対象年齢	設置時期	特徴
1	市川市立こども図書館	市川メディアパークの1階部分に子ども図書館と中央図書館を設置	468	約10万冊		平成6年	一般の図書館とこども図書館が同じ建物の中に離れて設置されている。
2	飯能市立子ども図書館	入間川の渓谷に隣接した自然豊かな環境の中に設置されている	635	約3万冊	0～15歳	平成9年	駐車場が少ない。
3	柏市立子ども図書館	元沼南町役場庁舎の再利用で、1階にこども図書館、2階に郷土資料館を設置	473	約3.3万冊	0～6歳	平成20年	母子保健に関する事業を実施している。学校図書館配送コーナーが併設されている。
4	渋谷区立笹塚子ども図書館	元公営住宅の再利用で、1階が子育て支援センター、2階に子ども図書館を設置	361	約4.6万冊	0～12歳	平成22年	書架を壁際に配置し、室内には移動可能な家具を設置している。
5	江戸川区立篠崎こども図書館	「江戸川区こども未来館」の1階部分に子どもライブラリーとして設置	412	約5.2万冊	0～12歳	平成22年	児童館機能を併設しており、多彩な主催事業が実施されている。
6	札幌市えほん図書館	白石区庁舎の移転に合わせ、複合庁舎内に設置	524	約2万冊	0～6歳	平成28年	区役所に併設。一般の図書館分館も併設している。保育園等の団体利用も想定している。
7	荒川区立ゆいの森あらかわ	中央図書館、吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばが一体となった施設	10,900	約60万冊	0～15歳	平成29年	1階が未就学児向け、2階は小学生向け、4、5階は自習スペースとなっており、対象年齢ごとに利用するフロアが明確に設定されている。
8	武雄市立こども図書館	中央図書館を含む公共施設が集積された地区の一画に設置	691	約2万冊	0～8歳	平成29年	図書スペース以外の要素が大きく設定されていて、居住性が重視されている。
9	磐田市立 ひと・ほんの庭にこつと	将来的に公共施設が集積される予定の地区の一画に合併以前からある町立図書館を改修して設置	1,923	約5万冊	0～18歳	平成30年	対象となる年齢ごとに利用するエリアを設定し、幅広い世代が利用できるように設定されている。
10	北九州市立こども図書館	中央図書館や勝山分館、視聴覚センターの一部を改修して設置	約2,000	約10万冊	0～18歳	平成30年 開館予定	1クラス単位での活動を想定しているほか、学校支援センターを併設している。
	浦安市中央図書館 児童コーナー		312	約5万冊	0～18歳	昭和58年	中央図書館全体5,296m <sup>2</sup> 蔵書全体で約75万冊 児童書約10冊(開架書架に約5万冊)